

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクト名	人も地域も地球も元気に！環境にやさしいまちづくりプロジェクト		実施期間	平成23～26年度	テーマ	その他		新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	地球規模の課題である温暖化については、市民一人ひとりが環境保全のために行動をおこし、全国的、国際的な動きに沿った取り組みを進めることが重要である。本市においても高潮被害や高気温などの影響があらわれており、国・京都府の動向に歩調を合わせた低炭素社会の実現や循環型社会の確立に向けた対策を講じ、市民・事業者・行政が連携して取り組むことが求められている。								
プロジェクトの目的及び概要	25年度においては、新エネルギー導入の具体化に向け、市内各機関と連携・協力しながら調査・研究に取り組むほか、節電・蓄電の視点から、新たに電気自動車及び電力供給設備の導入に対する支援を行い、これまでの取り組みと併せて一層の普及・啓発に努める。								
	総事業費（千円）	87,000	本年度事業費（千円）	22,274	交付金額（千円）	5,934			
プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績（出来高数値等）									
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）				
市町村 実施事業	低炭素社会実現事業	交付対象事業	新エネルギー導入に向けた調査・研究、家庭・企業が行う環境対策設備への支援、環境マネジメントシステム導入支援		電気自動車導入支援補助金（16件）、中小事業者の環境マネジメント認証取得に対する補助（2件）、中小企業環境対策設備導入助成金（1件）、住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助（63件）				
	循環型社会確立事業	交付対象事業	不法投棄撲滅対策		不法投棄パトロール（6コース、延べ622回）、不法投棄防止啓発看板の作成など				
住民 協働 事業	環境保全活動連携事業	交付対象事業 及び関連事業	市内一斉清掃活動に対する支援（クリーンキャンペーン）、市民団体による公共的空間の環境美化・維持活動		全市一斉清掃活動（クリーンキャンペーン） 7月7日 参加人数：153組9,489名 ごみ回収量：28 t				
住民が 取り組む 事業	循環型社会確立事業	交付対象事業	地域の美化活動に対する支援（舞鶴の川と海を美しくする会）		舞鶴の川と海を美しくする会が実施する事業に対する補助				
	生ごみ堆肥・減容化推進事業補助金	関連事業	家庭から出る生ごみを堆肥化・再生利用するため、堆肥化容器を購入される方に対する補助		生ごみ堆肥化容器購入費補助金（26基）、電気式等生ごみ処理機購入補助金（18基）				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：舞鶴市

成果指標①	成果指標の目標数値	住宅用太陽光発電システムの設置基数 (平成26年度：800基)		成果指標の実績値 (26年3月31日時点)	998基	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	省エネに関する市民の意識の高まりによるもの。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	市内事業者の環境マネジメントシステム導入件数 (平成26年度：130件)		成果指標の実績値 (26年3月31日時点)	49件	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	事業所にシステム導入のメリットが十分理解されていないため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	電気自動車（EV・PHV）の普及台数 (平成26年度：250台)		成果指標の実績値 (26年3月31日時点)	45台	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	充電インフラが十分でないことやEVが相対的に高価格となっているため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標④	成果指標の目標数値	市制度活用による環境経営への取組事業者数 (平成26年度：10事業所)		成果指標の実績値 (26年3月31日時点)	16事業所	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	関係機関との連携した周知が成果に繋がったもの。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果  ※未達成の場合も効果 を記載すること	省エネルギー・新エネルギー設備の導入に関する市民意識の高まりや、環境対策関連の商品開発、技術開発並びに環境負荷の軽減に対する企業意識の向上等により、住宅用太陽光発電システムの設置基数及び中小企業が取り組む環境対策に向けた設備投資をうまく促すことができた。 その一方で、環境マネジメントシステムの有用性がまだ浸透しておらず、また、電気自動車についても、相対的に普及が進んでいないため、上記事業を継続するとともに、引き続き当該事業の周知・PRに努めていく。  ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：舞鶴市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	生ごみの堆肥化及び減容化の推進により、家庭ごみの減量を促進するとともに、資源循環型のごみ処理体制の確立に寄与することができた。
	府と市町村等との連携に資する成果	上記の低炭素社会実現事業及び循環型社会確立事業の実施により、京都府が目指す「環境のみやこ」づくり、並びに高い環境適応性や高度な文化性を兼ね備えた地球環境時代にふさわしい産業社会の実現に寄与することができた。
	住民の自治意識を高める成果	市内一斉清掃活動や地域の美化活動等を通じて、地域住民で地域を美しくするという意識を高めることができた。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	上記事業の実施により、省エネルギー・新エネルギー設備の導入に関する市民意識が高まるとともに、環境対策関連の商品開発、技術開発並びに環境負荷の軽減に対する企業意識が向上した。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。